

フォトダイジェスト 40年の軌跡



● 歴代会長
● 規約

1961～1970

■ 創立に至るまで－「開発協会」創立への動き

■ 1961年－燃え立つ愛郷心

- ・創立総会に46名参加、初代会長に梁萬基氏

■ 1962年－交流への飛翔

- ・第2回定期総会で金坪珍新会長を選出
- ・感動的な第1次郷土訪問団18名を派遣
- ・五賢高校サッカーチームを招請 ・ 済州商事(株)を設立

■ 1963年－往来が活発化

- ・第2回定期総会で金坪珍新会長を選出 ・ 第3回で再選
- ・ミカン苗木寄贈運動をスタート ・ 食糧難に1千ドルを支援
- ・済州道女性代表親善使節団を招請
- ・金坪珍会長が文化勲章国民賞を受賞
- ・第2次郷土訪問団に11名が参加

■ 1964年－組織を拡大強化

- ・第4回定期総会で新会長に趙辯訓氏を選出
- ・第3次郷土訪問団は7名 ・ 機関誌『漢拏山』創刊

■ 1965年－人材養成の推進

- ・済州道産業開発技術研修生10名が来日
- ・第5回定期総会で趙辯訓会長を再選
- ・康祐俊済州道知事が来日
- ・技術要員3名を追加招請 ・ 教育視察団が来日

■ 1966年－農業振興への貢献

- ・第6回定期総会で高元一新会長を選出
- ・視察団が続々と来日 ・ 機関誌『漢拏山』第2号発行

■ 1967年－知事・市長が来日

- ・鄭雨聆済州道知事が来日
- ・第7回定期総会で韓文鳳新会長を選出
- ・第4次郷土訪問団7名を派遣
- ・済州大学、行政公務員視察団が来日
- ・機関誌『漢拏山』3号発行

■ 1968年－奨学事業を支援

- ・第8回定期総会で役員任期を2年に
- ・「ミカンの済州を築こう」が合言葉に
- ・青年部を設置 ・ 金泰泰北済州郡守が来日
- ・第5次郷土訪問団9名を派遣
- ・済州道養鶏組合などの視察団が来日

■ 1969年－ミカン栽培を積極推進

- ・具滋春済州道知事が来日
- ・第9回定期総会で高瑋準新会長を選出（2年任期）
- ・「済州道奨学会」を創設 ・ 乗用バス、編物機を寄贈
- ・『協会ニュース』を発刊 ・ 金漢駿済州市長が来日

■ 1970年－創立10周年記念行事を開く

- ・機関誌『漢拏山』第4号発行
- ・権容湜道知事、産業視察団が来日
- ・済州道の風水害などに積極的に救援

1971～1980

■ 1971年－済州道一周道路舗装が完工

- ・第11回定期総会で玄拱洙新会長を選出
- ・済州商事10周年記念式典 ・ 青年部の活動が活発化
- ・第6次郷土訪問団16名を派遣
- ・農機具や防風林寄贈を斡旋
- ・寄贈と交流を積極推進 ・ 済州道一周道路舗装が完工

■ 1972年－セマウル運動を支援

- ・第12回定期総会で対内事業強化を決議
- ・駅伝大会を共催し、第7次郷土訪問団18名を派遣
- ・防風林の苗木を寄贈 ・ 農機具寄贈を斡旋
- ・第2次技術研修生13名を招請

■ 1973年－岩手支部が誕生

- ・第13回定期総会で新会長に金坪珍氏を選出
- ・岩手支部が誕生 ・ 青年部でボウリング大会、海水浴を実施
- ・第8次郷土訪問団に26名が参加
- ・済州道新聞記者視察団が来日
- ・ミカン栽培視察団が来日 ・ 園芸栽培技術研修生を招請

■ 1974年－チャーター機で大型訪問団

- ・協会旗を決定 ・ 機関誌『漢拏山』第5号発行
- ・特別チャーター機で第9次郷土訪問団115名を派遣
- ・ミカン苗木・農機具寄贈を斡旋

■ 1975－解放30周年記念郷土訪問団

- ・第15回定期総会で金昶輝新会長を選出
- ・直行便で第10次郷土訪問団122名が済州へ
- ・ミカン苗木寄贈事業に終止符

■ 1976年－秋夕省墓団を派遣

- ・第1回家族同伴新年会
- ・青年部、1泊海水浴で講演会を開く
- ・機関誌『漢拏山』第6号発行
- ・第11次郷土訪問団36名を派遣
- ・初の青年秋夕墓参団を派遣

■ 1977年－済州道から相次いで来日

- ・第17回定期総会で新会長に高尚秀氏を選出
- ・第12次郷土訪問団を派遣
- ・張日勲道知事が来日 ・ 済州道産業視察団を招請

■ 1978年－2世が郷土で学習

- ・第3回家族同伴新年会 ・ 第18回定期総会
- ・第13次郷土訪問団チャーター便で144名参加
- ・在京済州道民会一行が来訪 ・ 教育視察団が来日

■ 1979年－郷土夏季学校が開始

- ・第19回定期総会で高瑋鉉新会長を選出
- ・第14次郷土訪問団 ・ 第2回郷土夏季学校
- ・済州道農業技術研修生が来日

■ 1980年－創立20周年事業を決定

- ・第20回定期総会で20周年事業を決定
- ・理事親睦旅行会を開く

1981 ~ 1990

■ 1981年—創立20周年記念式典

- ・創立20周年記念式典を開く
- ・機関誌『漢拏山』第7号発刊
- ・第21回定期総会で金栄洪新会長を選出
- ・第15次郷土訪問団・第3回夏季郷土学校

■ 1982年—崔在栄道知事が来日

- ・崔在栄道知事を招請

■ 1983年—第4回夏季学校開く

- ・第23回定期総会で高昌運新会長を選出
- ・第16次郷土訪問団135名を派遣
- ・崔在栄道知事が来日
- ・『済州開発協会新報』を新規発行

■ 1984年—第13回全国少年体育大会

- ・臨時総会で会長に金昶輝氏を選出
- ・第13回全国少年体育大会開かれる
- ・玄平孝済州大学長が来日
- ・直行定期航路開設を陳情

■ 1985年—東京—済州航空路線が開通

- ・第25回定期総会で姜京俊新会長を選出
- ・蔣炳九道知事が来日
- ・東京—済州間定期直行航路が開通
- ・農業視察団が来日
- ・KBS取材班が来日

■ 1986年—金斗熙済州大学総長が来日

- ・青年部が講演会「済州開発協会の歴史」を開く
- ・金斗熙済州大総長が来日

■ 1987年—水害救援金500万ウォンを済州道へ寄託

- ・留学生と野遊会開く
- ・水害救援金を寄託
- ・第27回定期総会で高河允新会長を選出
- ・柑橘産業視察団が来日

■ 1988年—ソウルオリンピックに沸く

- ・ソウルオリンピック記念植樹
- ・技術研修生を招請

■ 1989年—世代交代大幅にすすむ

- ・第29回定期総会で高章守新会長を選出
- ・李君普道知事が来日
- ・農業研修団が来日
- ・青年部と留学生が交流会を開く

■ 1990年

- ・理事親睦旅行会開催
- ・玄敬大民主平和統一諮問会議事務総長来訪

1991 ~ 2000

■ 1991年—創立30周年記念式典挙行

- ・30周年記念誌『愛郷無限』発行
- ・第31回定期総会で李時香新会長を選出
- ・済州道警察庁視察団来訪
- ・済友会ゴルフコンペ第1回開催

■ 1992年—開発から親睦へ

- ・「在日本済州道民協会」に改称
- ・済州道北郡議会議員団と懇談会
- ・済州道農民教育院関係者一行来訪

■ 1993年—青年部育成と組織拡大

- ・第33回定期総会で夫昇培新会長選出
- ・在京済州道出身親睦団体と懇親会
- ・済州道議会日本視察団、道観光広報団来訪

■ 1994年—在外道民会との交流事業推進

- ・済州道特産品展示販売会盛況
- ・家族同伴新年会。成人式に450名集う
- ・済州道投資説明会開かれる

■ 1995年—信頼・協力・奉仕を掲げ

- ・第35回定期総会で金和男新会長選出
- ・金太智駐日大使歓迎会開く
- ・在日コリア青年祝祭に出展
- ・慎久範済州道知事歓迎会開く

■ 1996年—済州道の開発元年

- ・済州道観光協会代表団日本各地で広報活動
- ・済州市立交響楽団僑民慰問演奏会
- ・第30回道民体育大会でゴルフ在日東京チーム優勝

■ 1997年—在日済州婦人会創立

- ・第37回定期総会で李淳元新会長選出
- ・済州婦人会初代会長に韓道淑氏
- ・親睦・結婚問題を積極的に推進

■ 1998年—顧問、相談役に相次ぎ国民勲章授章

- ・禹瑾敏道知事一行訪日歓迎晩餐会開催
- ・『済州道民協会ニュース』新規発行
- ・済州大学趙文富総長来訪

■ 1999年—婦人会活動活発に展開

- ・第39回定期総会で李徳雄新会長選出
- ・婦人会「ブライダルパーティ」開催
- ・高齢者故郷訪問事業に12名参加

■ 2000年—世代交代すすむ

- ・第40回定期総会で40周年記念行事等決議
- ・2002年済州ワールドカップ説明会開催

フォトダイジェスト 40年の軌跡



■ 発足当時の済州新聞と東和新聞の報道



■ 済州観光ホテル



■ 第1次訪問団 金栄寛知事より道政の説明を聞く



■ 五賢高校サッカーチーム



■ 第1次訪問団 済州飛行場にて



■ 優勝杯を受け取る五賢高校の選手



■ 5.16道路工事現場を視察する訪問団一行



■ 大阪府庁と大阪商工会議所を訪問する一行



■ 銚子港を視察する金栄寛知事一行



■ 第3回定期総会で金坪珍会長を再選



■ 神奈川県庁を訪問



■ 聖フランシスコ子ども寮を視察



■ 久保田農機具工場を視察



■ 九段会館で開催された「済州道民のタベ」



■ 東京都庁を訪問 韓国人として初めて幸運の鍵を授与される



■ 済州道女性代表親善使節団一行

フォトダイジェスト 40年の軌跡



■ 金坪珍会長文化勲章受賞祝賀会



■ 康祐俊済州道知事一行



■ 機関誌『漢拏山』創刊



■ 新東京電力を視察する技術要員



■ 第3次郷土訪問団一行



■ 農業視察団一行



■ 産業開発技術研修生一行



■ 鄭雨湜済州道知事



■ 東京都庁を訪問する行政公務員



■ 第5次郷土訪問団



■ 道庁へマイクロバスを寄贈



■ 具滋春済州道知事が来日



■ 青年部長に姜仁煥氏を選出



■ 済州道奨学会 第1回理事会



■ 金泰泰北済州郡守が来日



■ ミカン栽培技術者を派遣

フォトダイジェスト 40年の軌跡



■ 道庁のグラウンドに並べられたミカン苗木



■ 念願の済州道一周道路の舗装工事が完了



■ 創立10周年記念式典



■ 青年部の海水浴



■ 機関誌『漢拏山』第4号発刊



■ 第2回駅伝マラソン



■ 権容湜知事来日



■ 第2次技術研修生



■ 防風林とミカンの新品種を寄贈



■ 園芸技術研修生 埼玉県園芸試験場にて



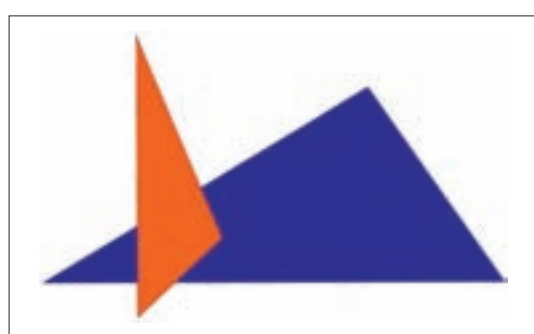
■ 岩手支部の創立総会



■ 済州道新聞記者視察団一行



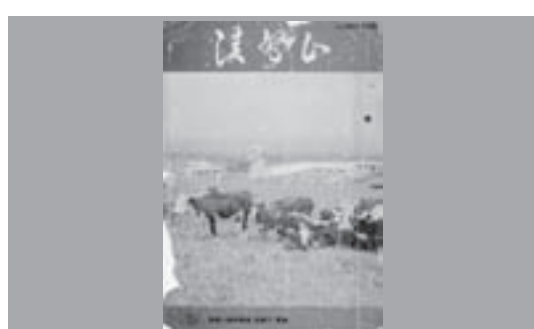
■ 青年部 伊東の塩吹場で海水浴



■ 協会の旗



■ 第8次郷土訪問団



■ 機関誌『漢拏山』第5号発刊

フォトダイジェスト 40年の軌跡



■ 第9次郷土訪問団



■ 第11次郷土訪問団



■ 第15回定期総会で新会長に金昶輝氏を選出



■ 張日勲道知事が来日



■ 第1回家族同伴新年会



■ 第17回定期総会で新会長に高尚秀氏を選出



■ 機関誌『漢拏山』第6号発刊



■ 済州道産業視察団



■ 第1回郷土夏季学校



■ 創立20周年記念式典



■ 第19回定期総会で高埜鉉新会長を選出



■ 機関誌『漢拏山』第7号発刊



■ 第2回郷土夏季学校



■ 第21回定期総会で金栄洪新会長を選出



■ 済州道農業技術研修生が来日



■ 第23回定期総会で新会長に高昌運氏選出

フォトダイジェスト 40年の軌跡



■ 崔在榮道知事が来日



■ 第25回定期総会で姜京俊新会長を選出



■ 全国少年体育大会時に建築された愛郷運動場



■ 青年部講演会



■ 直行定期航路開設を陳情



■ 1987年家族同伴新年会



■ 農業視察団が来日



■ 第27回定期総会で新会長に高河允氏を選出



■ ソウルオリンピック記念植樹



■ 創立30周年記念式典



■ 李君普道知事が来日



■ 創立30周年記念式典来賓



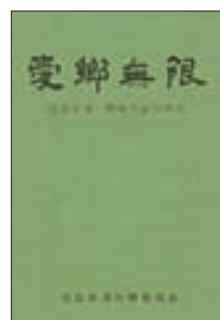
■ 1990年家族同伴新年会



■ 創立30周年記念式典顧問団



■ 第30回定期総会



■ 30周年記念誌「愛郷無限」発行

フォトダイジェスト 40年の軌跡



■ 第8回夏季郷土学校



■ 第9回夏季郷土学校



■ 第32回定期総会



■ 済州道議会日本視察団訪日懇談会



■ 禹瑾敏済州道知事歓迎会兼懇談会



■ 辺精一国会議員来訪



■ '93年家族同伴新年会



■ 済州道特産品東京展示販売会



■ '94家族同伴新年会



■ 濟州道會議議長一行歡迎会



■ 濟州道民間資本誘致団一行



■ コンベンションセンター建立投資説明会



■ '95家族同伴新年会新成人たち



■ 理事旅行会



■ 慎久範濟州道知事歓迎会



■ '97家族同伴新年会

フォトダイジェスト 40年の軌跡



■ 第11回夏季郷土学校



■ 婦人会日帰りバス旅行



■ 在日済州道婦人会設立総会（円内は韓道淑婦人会初代会長）



■ 金坪珍顧問が済州大学名誉博士号を授与



■ '98家族同伴新年会



■ '99家族同伴新年会・成人式



■ 永六輔氏講演会



■ '99ゴルフコンペ



■ 第13回夏季郷土学校



■ 2000年家族同伴新年会・成人式



■ '99ブライダルパーティ



■ 2002年済州ワールドカップ説明会



■ 北済州郡守一行歓迎会



■ 第40回定期総会



■ 2000年家族同伴新年会・成人式



■ 第40期執行部

● 歴代会長

初 代



梁 萬 基
(1961.2～1962.1)

第2代・第8代



金 坪 珍 (故人)
(1962.2～1964.1)
(1973.3～1975.1)

第 3 代



趙 辯 訓 (故人)
(1964.2～1966.1)

第 4 代



高 元 一 (故人)
(1966.2～1967.1)

第 5 代



韓 文 鳳 (故人)
(1967.2～1969.1)

第 6 代



高 琤 準 (故人)
(1969.2～1971.1)

第 7 代



玄 拱 洙 (故人)
(1971.2～1973.2)

第9代・第14代



金 昶 輝 (故人)
(1975.2～1977.1)
(1984.1～1985.5)

第 10 代



高 庠 秀 (故人)
(1977.2～1979.1)

第 11 代



高 琤 鉉
(1979.2～1981.2)

第 12 代



金 榮 洪 (故人)
(1981.3～1983.5)

第 13 代



高 昌 運
(1983.6～1983.12)

第 15 代



姜 京 俊 (故人)
(1985.6 ~ 1987.5)

第 16 代



高 河 允 (故人)
(1987.6 ~ 1989.5)

第 17 代



高 章 守
(1989.6 ~ 1991.5)

第 18 代



李 時 香
(1991.6 ~ 1993.5)

第 19 代



夫 昇 培
(1993.6 ~ 1995.5)

第 20 代



金 和 男
(1995.6 ~ 1997.5)

第 21 代



李 淳 元
(1997.6 ~ 1999.5)

第 22 代



李 德 雄
(1999.6 ~ 2001.5)

第 23 代



金 英 秀
(2001.6 ~ 2003.5)

第 24 代



吳 贊 益
(2003.6 ~ 2005.5)

第 25 代



鄭 平 普
(2005.6 ~ 2007.5)

第26代・第27代



高 尚 弘
(2007.6 ~ 2009.5)
(2009.6 ~)



在日本関東済州道民協会 規 約

第1章 名称と事務所

第1条 (名 称)

本会は在日本関東済州特別自治道民協会と称す。

略称を在日本関東済州道民協会とする。

第2条 (事 務 所)

本会の事務所は東京都文京区湯島3丁目19番5号に置く。

第2章 目的並び事業内容

第3条 (目 的)

本会ならびに婦人会は会員相互の親睦と日本に於ける生活基盤の安定と社会的地位の向上をはかり、済州道との関係を緊密にし、郷土の発展に寄与することを目的とする。

第4条 (事業目的)

本会は前条目的を達成するため、次の事業を行う。

- 1 会員の相互親睦と社会的地位の向上をはかるための各種事業を行う。
- 2 済州道との連帯促進の事業及び在外道民会との交流を深める事業
- 3 青年部の育成事業
- 4 協会ニュース発行事業
- 5 その他、目的達成に必要な事業

第3章 会 員

第5条 (会員構成)

本会は関東地域に在住する在日済州道出身同胞（韓国籍・帰化した方）であり、本会の目的及び事業に賛同するものをもって構成する。

第6条 (入会手続)

本会に入会を希望する者は、会員の推薦により所定の入会手続を経て、常任役員会の承認を受けて加入する。

第7条 (会員の義務)

- 1 会員は所定の会費を納入しなければならない。
- 2 会員は規約及び総会、理事会の決議を遵守しなければならない。

第8条 (脱 会)

会員は本人の申し出により任意脱会することができる。

第9条 (除 名)

- 1 会員が本会の名誉を傷つけるか、または会員としての義務を怠った場合には常任役員会の決議を経て、会長がこれを除名することができる。

第4章 役員および理事

第10条 (役員の定数)

本会に次の役員を置く。

会長1名、副会長若干名、部長・次長若干名、監事 若干名

第11条 (会長、副会長、選任方法と権限)

- 1 会長は常任役員会の推薦を受け、顧問団に諮り、総会で選任する。
但し、大韓民国在外国民登録を完了

したものに限る。

会長は本会を代表統括し、総会を招集する。

- 2 会長は会務執行の責任者であり、理事会を招集し、その議長となる。
- 3 副会長は会長の推薦を受け、総会で選任する。

副会長は会長を補佐し、会長に事故が起きたときは、顧問及び副会長の合議により、副会長の中から推薦された者がその職務を代行する。(但し、3ヶ月以内に臨時総会を招集し、会長を選任する)

第12条 (理事の構成と選任方法)

- 1 理事は50名以上で構成する。
- 2 理事は2名以上の理事の推薦により、随時選任することができ、総会において事後承認を受ける。

第13条 (監事選任方法と権限)

監事は総会で選任する。

監事は本会の財産状況及び業務の執行状況を監査し、総会でこれを報告する。

第14条 (役員の任期)

- 1 会長をはじめとする役員の任期は2年とする。
- 2 補選された役員の任期は前任者の残余期間とする。

第15条 (理事・役員の解任)

- 1 会長は総会の決議により、またその他の役員は、その選任機関の決議によって解任することができる。
- 2 理事の解任は、理事会の決議を経

て、会長がこれを解任することができるが、次期総会において事後承認を得なければならない。

- 3 年間理事費を2年以上納入しなかった理事は、理事職を自動的に解任されたものと見なす。

第16条 (顧問、相談役)

本会に常任顧問、顧問、相談役を若干名置くことができる。

- 1 顧問、相談役は会長が推薦し、総会で承認を得る。
顧問、相談役は会長の諮問に応じ、本会各会議に参加して意見を述べる
ことができる。
- 2 顧問、相談役の任期は役員と同一である。

第5章 会 議

第17条 (会 議)

本会の会議は総会（定期総会、臨時総会）、理事会、常任役員会とする。

第18条 (総会の招集)

- 1 総会は毎年6月から7月の間に招集する。
- 2 臨時総会は次の場合招集する。
イ、会長が必要ありと認めたとき。
ロ、理事会が決議したとき。
ハ、会員総数の3分の1以上が、総会に建議すべき事項と理由を示して要求したとき。
- 3 総会の招集は、招集日の15日前まで



在日本関東済州道民協会 規 約

に、各会員に総会の建議事項、日時、場所を通知しなければならない。

第 19 条 (総会の成立、議決)

- 1 総会は会員総数の過半数以上の出席または、委任状の提出をもって成立する。
- 2 総会の議決は出席会員の過半数をもってこれを決し、可否同数の場合は議長の裁決に従う。
- 3 規約変更の決議は、会員の過半数以上の賛同（委任状を含む）を必要とする。

第 20 条 (議事録)

総会議事録は、議長及び総会出席会員の 2 名以上が署名捺印し、これを本会に保管する。

第 21 条 (総会に建議する事項)

次の事項は、総会に建議しなければならない。

- 一、規約の変更
- 一、役員の任免
- 一、事業報告及び収支決算報告
- 一、事業計画及び収支予算案
- 一、その他必要な事項

第 22 条 (理事会の招集、成立、議決)

- 1 理事会は次の場合に招集される。
 - イ、会長が必要ありと認めたとき。
 - ロ、常任役員会が決議したとき。
 - ハ、理事の 3 分の 1 以上の要求があったとき。
- 2 理事会は理事の過半数の出席をもって成立し、決議は出席理事の過半数をもって決定する。

第 23 条 (理事会に建議する事項)

理事会は本会の運営上、重要な基本事項及び、次の事項を審議決定する。

- 一、総会に提出する議案
- 一、会務執行方針
- 一、その他、会長が建議する事項

第 24 条 (常任役員会)

- 1 常任役員会は常任顧問、会長、副会長、各部署の部長・次長によって構成され、原則として月 1 回行うものとする。
- 2 常任役員会は本会の運営上、緊急事項及び理事会決議事項の執行に関して審議決定する。

第 6 章 部署と分科委員会

第 25 条 (部 署)

- 一、総務部
- 一、財政部
- 一、組織部
- 一、宣伝部
- 一、渉外部
- 一、事業部
- 一、国際部
- 一、青年部（但し、必要に応じ各部署に次長を置くことができる）

第 26 条 (分科委員会)

本会の目的を達成するために、専門分科委員会を置くことができる。

第 27 条 (婦人会)

本会には婦人会を設置する。

- 1 名称を在日済州婦人会とする。
- 2 婦人会は、婦人会の総意による会則を定める。

第7章 財産と会計

第28条（会計年度）
本会の会計年度は毎年6月1日に始まり、翌年5月31日に終了する。

第29条（財産）
本会の財産は次の各号からなる。
一、財産目録の財産
一、会 費
一、賛助金
一、会員及び有志の寄附金
一、事業に依る収入
一、財産から生じる収益
一、その他収入

第30条（特別会計）
本会は必要に応じ役員会の決議を経て、特別会計を設定することができる。

第31条（財産管理及び運営）
本会の財産管理及び運営に関する基本方針は総会において決定し、細則は理事会において決定する。

第8章 解散並びに精算

第32条（解 散）
本会は総会の決議によって解散する。

第33条（精 算）
本会解散の時は総会において清算人若干名を選任し、精算期限を指定しなければならない。

第9章 附 則

第34条（施 行）
本規約の施行に必要な細則は理事会において決定する。

第35条（施行期日）
本規約は西紀1963年2月26日、第3回定期総会で採択された日より始まり、以後、以下の定期総会にて改定された。
西紀1968年2月24日（第8回定期総会）
西紀1985年7月6日（第25回定期総会）
西紀1992年7月4日（第32回定期総会）
西紀2008年6月21日（第48回定期総会）

編集後記

●発刊するにあたり、半世紀50年、さまざまな困難を乗り越えて、現在運営されている道民協会の歴史と伝統の重さを再認識させられました。次の世代へと受け継がれ、100年史が発刊されることを望んでいます。

●編集中に、未曾有の東日本大震災が発生し、東北地方を中心に甚大な被害を被り、未だ行方不明者が多数いる中、2次災害的な福島原発事故が起こり、今後予断を許さない状況であります。日本はもとより、世界中が注目を寄せている原発事故を注視していきたいです。

●今年11月11日に決定される世界7大不思議自然景観に、済州道が選定されることを確信しながら編集作業を行なってまいりました。

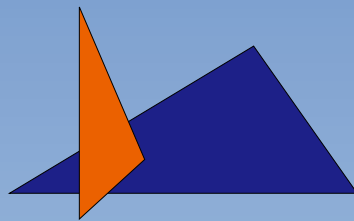
●発刊にあたり、執行部の皆様はもとより、各方面からご協力を頂きほんとうにありがとうございました。
(高尚弘)

漢 肇 山

第9号 50周年記念号

発行日	2011年5月31日
発行人	高 尚 弘
編集人	李 始 禹
発行所	在日本関東済州道民協会 東京都文京区湯島3丁目19番5号 電話 03-3832-4411 FAX 03-3832-5078 ホームページ www.jejudomin.org

編集協力	ケイビーエス株式会社
印刷	電話 06-6716-5665 FAX 06-6711-2104



在日本関東済州道民協会